

2022(令和4)年度支部保険者機能強化予算について

令和3年10月29日

第69回香川支部評議会

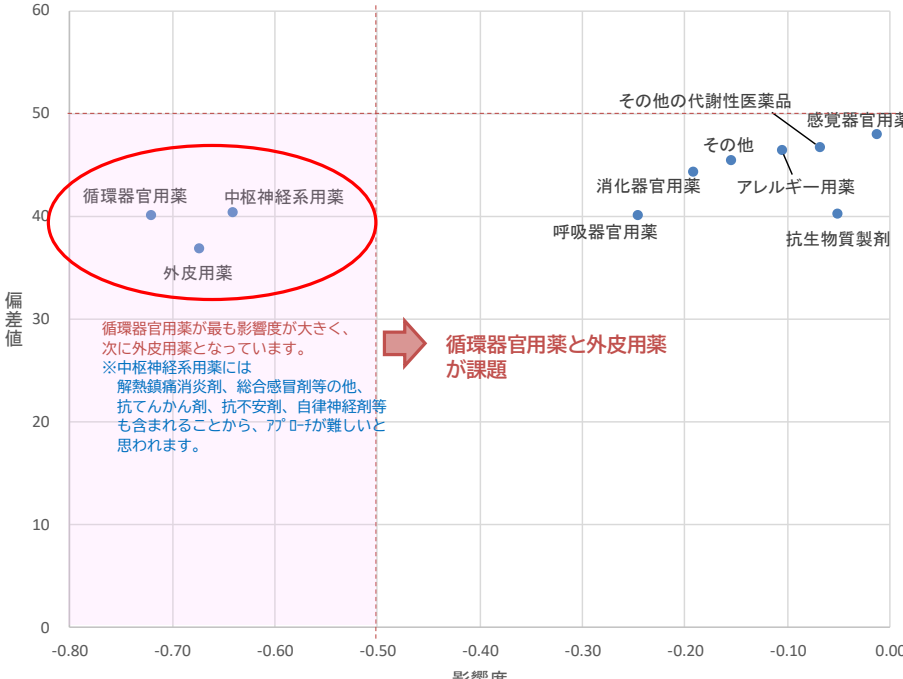


全国健康保険協会 香川支部
協会けんぽ

2022(令和4)年度支部保険者機能強化予算の計上額(案)

	分野	区分	事業	令和4年度 計上額(案)	令和3年度 計上額
支部医療費適正化等予算	医療費適正化対策経費	企画部門関係	若年層へのジェネリック医薬品の使用促進、加入者に対するアンケート調査等	2,665,000	3,358,000
	広報・意見発信経費	紙媒体による広報	事業所あてチラシの作成、柔整適正化に向けたポスターの作成等	1,620,000	2,445,000
		その他の広報	香川支部の特徴や課題を可視化した広報及びアンケートの実施等	6,834,000	5,352,000
	分野小計				11,119,000 (予算枠: 11,190,000円)
支部保健事業予算	健診経費	治療中の者の検査結果情報提供料	-	0	0
		健診予定者名簿送料	-	0	0
		健診実施機関実地指導旅費	-	0	15,000
		事業者健診の結果データの取得	-	9,778,000	11,242,000
		集団健診	-	4,846,000	5,161,000
		健診推進経費	-	2,759,000	2,543,000
		健診受診勧奨等経費	-	4,452,000	4,928,000
	保健指導経費	中間評価時の血液検査費	-	4,620,000	4,620,000
		保健指導用パンフレット作成等経費	-	825,000	825,000
		その他保健指導用経費	保健指導用事務用品費(測定用機器類等)、医師謝金、図書購入費等	311,000	311,000
		保健指導推進経費	特定保健指導委託機関の報奨金	1,015,000	974,000
	重症化予防事業経費	保健指導利用勧奨経費	集団健診会場での特定保健指導の実施、特定保健指導の利用勧奨	1,320,000	495,000
		未治療者受診勧奨	二次勧奨業務等	1,320,000	0
	コラボヘルス事業経費	重症化予防対策	糖尿病性腎性患者の重症化予防対策、40歳未満の血糖リスク者に対する保健指導業務委託等	5,169,000	4,509,000
		コラボヘルス事業	新規健康宣言事業所の拡充・支援事業等	1,969,000	1,904,000
	その他の経費	情報提供ツール(事業所カルテ等)	事業所カルテを活用した経営者への意識啓発等	255,000	255,000
		その他の保健事業	集団健診会場での簡易歯周病検査事業等	1,280,000	1,426,000
保健事業計画アドバイザー経費		-	0	0	
分野小計				39,919,000 (予算枠: 39,929,000円)	39,208,000
合計				51,038,000 (予算枠: 51,119,000円)	50,363,000

1. 医療費適正化等予算

事業名	ジェネリック医薬品への未切替者に対するアンケート調査
目的	香川支部におけるジェネリック医薬品の使用割合は全国平均を下回っており、第5期アクションプランで定める使用割合80%達成に向けた施策が必要。
概要	<p>ジェネリック医薬品軽減額通知送付者の未切替者のうち、使用率に与える影響度が大きい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・40歳以上 ・循環器用薬、外皮用薬 <p>の対象者についてアンケート調査を行い実態を把握する。</p>  <p>偏差値</p> <p>影響度</p> <p>循環器官用薬が最も影響度が大きく、次に外皮用薬となっています。 ※中枢神経系用薬には解熱鎮痛消炎剤、総合感冒剤等の他、抗てんかん剤、抗不安剤、自律神経剤等も含まれることから、アプローチが難しいと思われる。</p> <p>循環器官用薬と外皮用薬が課題</p>
実施時期	令和4年9月（予定）
期待される効果	ジェネリック医薬品未切替理由の実態把握・分析による新たな事業展開

1. 医療費適正化等予算

事業名	香川支部の特徴や課題を可視化した広報の実施
目的	令和2年度理解度調査の結果、香川支部は全分野において全国並みの理解度であり、協会けんぽの事業等に関する広報活動が必要である。
概要	香川支部の特徴・傾向・課題・事業等をデータから可視化した広報媒体を作成し、事業所への配布や公共交通機関や駅構内等への掲示を行う。あわせて事業主・加入者へのアンケート調査を実施する。
実施時期	通年
期待される効果	香川支部の現状や課題に対する、事業主や加入者との共通認識や連帯感の醸成

1. 医療費適正化等予算

事業名	柔道整復施術療養費適正化に向けたポスターの活用
目的	県内の施術所にポスターを掲示依頼し、施術管理者及び患者に対して適正な施術を広報することで柔道整復施術療養費の適正化を図る。
概要	香川県保険者協議会等と連携し柔道整復施術療養費適正化ポスターを作成し、県内の施術所等に掲示依頼する。
実施時期	通年
期待される効果	柔道整復施術療養費の適正化

1. 医療費適正化等予算

事業名	任意継続申請セットの活用
目的	資格喪失予定者や事業所に配布することで制度周知を行い、加入者サービスの向上を図る。
概要	制度案内リーフレット、申請書、返信用封筒を封入した「任意継続申請セット」を作成し、市町の国民健康保険窓口や商工会議所・商工会、事業所、健康保険委員、社会保険労務士等に配布・設置依頼する。
実施時期	通年
期待される効果	制度周知及び郵送化促進、繁忙期対策

2. 保健事業予算

事業名	集団健診会場での簡易歯周病検査
目的	香川支部では特定健診受診率向上のため、集団健診と合わせて歯科健診を実施しているが、現行の歯科医師が実施する歯科健診は多くの件数がこなせないため先着順とし、多くの希望者を断っている。このため、より多くの方に歯周病検査を受けてもらえるよう簡易な方法に改めるものである。
概要	集団健診会場において唾液採取による歯周病のスクリーニング検査を実施する。本事業は公益社団法人香川県歯科医師会と連携し、陽性者にはかかりつけ歯科医師への早期の受診を促す。
実施時期	令和4年10～12月
期待される効果	集団健診の受診率向上、歯科医療費の適正化

2. 保健事業予算

事業名	特定健診未受診者へのアンケート調査																		
目的	<p>特定健診対象者の約50%が3年以上連続未受診者である。 このことについて、未受診理由を調査するとともにパート先等で受診している者については健診結果の提出を促すことを目的とする。</p>																		
概要	<p>3年以上連続未受診者（約22,000人）に対してアンケートを送付し、特定健診を知っているかどうか、未受診の理由、事業者健診や個人でドックを受診している場合は健診結果（令和3年度受診分）の提供を依頼する。</p> <div data-bbox="1315 525 1792 1029" style="text-align: right;"> <p>H29-R1年度を受診回数</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>受診回数</th> <th>人数</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0回</td> <td>22,013</td> <td>53%</td> </tr> <tr> <td>1回</td> <td>9,966</td> <td>24%</td> </tr> <tr> <td>2回</td> <td>4,759</td> <td>11%</td> </tr> <tr> <td>3回</td> <td>5,017</td> <td>12%</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>41,755</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table> </div>	受診回数	人数	割合	0回	22,013	53%	1回	9,966	24%	2回	4,759	11%	3回	5,017	12%	合計	41,755	100%
受診回数	人数	割合																	
0回	22,013	53%																	
1回	9,966	24%																	
2回	4,759	11%																	
3回	5,017	12%																	
合計	41,755	100%																	
実施時期	令和4年4～6月																		
期待される効果	<p>未受診理由を把握し効率的な受診勧奨業務の展開につなげる。 紙データ取得による受診率向上</p>																		

2. 保健事業予算

事業名	事業者健診にかかる同意書・健診結果取得勧奨及びデータ作成業務委託業務
目的	事業者としての定期健康診断を実施している事業所に対し、定期健診結果の提供を依頼、データ化したものを受領することで重症化の予防につなげるとともに、データ取得率の向上につなげる。
概要	<ol style="list-style-type: none">1. 事業者健診にかかる同意書の取得勧奨業務2. 事業者健診結果の取得勧奨及びCSVデータの作成業務3. 事業者健診結果（CSVデータ）の作成業務
実施時期	令和4年4月～令和5年2月末頃
期待される効果	健診データ登録の増加。内部事務量の削減。

2. 保健事業予算

事業名	特定保健指導未利用者への利用勧奨
目的	香川支部では健診の結果、特定保健指導の対象者となった方が在籍する事業所へ電話による利用勧奨（アポ電）を行った上で実施している。 このアポ電時に対応してもらうのは主に事業所の健診担当者であるが、特定保健指導の意味や重要性といった情報が対象者本人に伝わっていない可能性がある。
概要	事業所として受け入れが不可能である場合であっても訪問以外の実施方法（来所、実施機関、ICTによる遠隔）があるため、対象者個人へ直接情報提供した上で利用勧奨を行う。
実施時期	通年
期待される効果	特定保健指導の認知度及び実施率の向上

2. 保健事業予算

事業名	要治療者への受診勧奨業務
目的	健診後、治療等が必要な者が、未治療とならないよう確実に受診へつなげることにより重症化予防と医療費適正化を図る。
概要	生活習慣病予防健診の結果において、要治療・要精密検査の判定となり治療等が必要な者（二次勧奨対象者）に対して、健診受診機関から医療受診状況の確認のため電話による勧奨を実施する。
実施時期	通年
期待される効果	早期治療による重症化予防、急激な症状悪化によって発生する高額な医療費の削減

2. 保健事業予算

重症化予防事業②

事業名	代謝リスク該当者（女性）への情報提供																												
目的	香川支部の健診結果を分析すると代謝（血糖）リスク保有者割合が女性で特に高くなっている。																												
概要	<p>上記について特定保健指導対象者のみならず、同リスク保有者にパンフレット等による情報提供を行い、香川県における健康特性の周知を行う。</p> <div data-bbox="1174 578 1796 996" data-label="Figure"> <p>【生活習慣病リスク保有者割合(2020年度)】</p> <table border="1"> <caption>生活習慣病リスク保有者割合(2020年度)の比較</caption> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>項目</th> <th>香川 (順位)</th> <th>全国 (順位)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>指標1</td> <td>メタボリックリスク</td> <td>24位</td> <td>24位</td> </tr> <tr> <td>指標2</td> <td>メタボリック及びメタボ予備群</td> <td>15位</td> <td>15位</td> </tr> <tr> <td>指標3</td> <td>腹囲リスク</td> <td>13位</td> <td>13位</td> </tr> <tr> <td>指標4</td> <td>血圧リスク</td> <td>15位</td> <td>15位</td> </tr> <tr> <td>指標5</td> <td>代謝(血糖)リスク</td> <td>44位</td> <td>44位</td> </tr> <tr> <td>指標6</td> <td>脂質リスク</td> <td>33位</td> <td>33位</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 指数は低い方が良い状態です</p> <p>※ <全国を100とした指数></p> </div>	指標	項目	香川 (順位)	全国 (順位)	指標1	メタボリックリスク	24位	24位	指標2	メタボリック及びメタボ予備群	15位	15位	指標3	腹囲リスク	13位	13位	指標4	血圧リスク	15位	15位	指標5	代謝(血糖)リスク	44位	44位	指標6	脂質リスク	33位	33位
指標	項目	香川 (順位)	全国 (順位)																										
指標1	メタボリックリスク	24位	24位																										
指標2	メタボリック及びメタボ予備群	15位	15位																										
指標3	腹囲リスク	13位	13位																										
指標4	血圧リスク	15位	15位																										
指標5	代謝(血糖)リスク	44位	44位																										
指標6	脂質リスク	33位	33位																										
実施時期	通年																												
期待される効果	代謝（血糖）リスク保有者割合の低下、保健指導対象者の減少																												

2. 保健事業予算

事業名	新規健康宣言事業所の拡充・支援事業
目的	新規健康宣言事業所の拡充・支援、優れた取り組み事例の紹介や表彰による健康経営の普及
概要	事業所訪問や各団体のセミナー等への参加により、新規健康宣言事業の勧奨や周知を行うとともに、健康宣言後の取り組み状況の確認及び支援を実施する。
実施時期	通年
期待される効果	健康づくりへの意識の醸成、健康宣言事業所数の増加、健診受診率や保健指導利用率の上昇等